

(2) 養護教諭の指標

キャリアステージ 観 点		基礎期	発展期	深化期
		1年目～6年目	7年目～20年目	21年目～
素養・資質	使命感・責任感	教員の使命と責任を理解し、法規の遵守や綱紀の保持などに対する意識を高め、教員として必要な倫理観を培う。	ミドルリーダーとしての使命感、責任感と高い倫理観に基づき、法規の遵守や綱紀の保持などを率先して実践する。	他の教員の範となるような確たる倫理観に基づき、法規の遵守や綱紀の保持などについて、使命感、責任感をもって助言する。
	コミュニケーション	教育者としての自覚に基づき、子供や保護者などと適切なコミュニケーションがとれるような社会性を身に付ける。	教育者として自覚をもった発言や行動ができ、円滑なコミュニケーション力や豊かな人間性を身に付ける。	教育者として信頼される発言や行動ができ、自ら範を示すとともに、コミュニケーション能力を生かして、周囲の関係を調整する。
	自己研鑽	管理職や同僚から学ぶ姿勢をもち、自分を見つめ、自ら進んで課題解決に取り組む。	自己の教育実践を振り返り、課題解決のために教育情報を広く収集し、専門性を高めるための研究と修養に励む。	自己の教育実践を振り返りながら、学校全体を視野に入れた、より効果的な教育活動の実践に取り組む。
知識・技能	子供理解	子供とのかかわりを通して、子供の発達の段階や成長の背景、配慮を必要とする子供へのかかわり方を理解する。	子供の発達の段階や成長の背景を理解し、子供との関係を深めるとともに、配慮を必要とする子供への対応など、個に応じた適切な理解ができる。	子供の個性が発揮できるよう専門的立場からの配慮ができる。
	保健教育	学校保健に関する基本的な知識や技能を身に付けるとともに、学級担任等との連携を生かした効果的な保健教育が実践できる。	学校保健に関する専門的知識や技能をより一層高めるとともに、健康課題解決のための保健教育を実践、評価、改善し、効果的に推進できる。	学校保健に関する自らの実践を広く情報発信するとともに、専門的知識や技能を学校全体の教育活動に生かし、指導的役割を果たすことができる。
	生徒指導	子供の自己存在感を認め、成長を促すための集団への指導とともに、保護者等の関係者や校内組織と連携しながら、個に応じた支援を行うことができる。	子供が抱える現代的な健康課題の解決に向け、関係者との連携において、コーディネーターとしての役割を果たすことができる。	子供が抱える現代的な健康課題の解決に向けて、様々な関係機関等と連携する上で、コーディネーターとしての役割を果たし、チームで対応することができる。
連携・協働	学校づくり	学校の教育目標を理解し、目標達成に向けた自己の役割を自覚し、特色ある学校づくりにおける「チーム学校」の一員として行動する。	学校の教育目標の達成に向けて、「チーム学校」の推進役として積極的にかかわり、特色ある学校づくりに取り組む。	
	参画・運営	保護者や地域との連携の大切さを理解し、管理職や同僚に報告、連絡、相談をしながら、教員集団の中で自ら進んでかかわりをもつ。	保護者や地域との連携に積極的にかかわるとともに、他の関係機関等との連携を強化し、協働的な教員集団の中心的な役割を果たす。	保護者、地域、関係機関に対して学校の取組を広報し、校内外における連携強化を図るとともに、協働体制づくりに関してリーダーシップを発揮する。
	危機管理	学校保健や学校安全に関する様々なリスクやトラブルを理解し、それに対応する力を身に付け、安心で安全な学校づくりに取り組む。	学校保健や学校安全に関するリスクやトラブルに対する未然防止策や対応策を提案し、安心で安全な学校づくりを推進する。	学校保健や学校安全に関する様々なリスクやトラブルに対して学校全体で取り組めるよう、他教員に助言し、安心で安全な学校づくりに関してリーダーシップを発揮する。